

令和6年度学校評価報告書

池上学院高等学校

令和6年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。

令和7年2月18日に学校関係者委員14名、校内委員11名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたので報告いたします。

1 本校の教育理念

<p>* 生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す”愛情教育”</p> <p>* 基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現</p> <p>* 社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成</p>
--

2 年度方針

<p>① <input checked="" type="checkbox"/> 図を持って向き合う</p> <p>② <input checked="" type="checkbox"/> ツッピーフレーミング</p>
--

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<p>○教育理念や経営方針は職員に十分周知されている。</p> <p>○就業時間の変更はスムーズに進み、教職員に働き方改革の意識が浸透した。</p> <p>○札幌における業務改革により、コースごとの特徴や業務内容の理解が全体的に深まった。</p> <p>●札幌における業務改革により、教職員や生徒、保護者に戸惑いや混乱も見られた。</p> <p>●会議の持ち方や情報共有の在り方について効率的な方法を検討する必要がある。</p> <p>●外部研修への参加や効果的な活用方法について検討する必要がある。</p>	<p>○いろいろな課題を持った生徒も多いなか、職員は教育理念に基づいてよくやっている。</p> <p>●今年度の業務改革により、先生と保護者間でのコミュニケーションが取りにくくなったり、担任団の教科バランスに偏りが見られたりした。次年度に向けて改善する必要がある。</p>
改善策	<p>(1)今年度の業務改革による成果と課題を踏まえ、組織体制や運用について改善を図る。</p> <p>(2)職員の資質向上を図る効果的な研修の在り方や活用の仕方について検討する。</p>	
組織運営	<p>○感染症対策及び学習環境の衛生管理は衛生委員会を中心に組織的に行うことができた。</p> <p>○学園全体の施設設備について安全を最優先し、特に暑さ対策としてすべての施設に冷房設備を完備した。</p> <p>○業務改善面でのICT環境は徐々に整備されてきた。</p> <p>●会議は先を見越して効率的に進める必要がある。</p> <p>●業務改革で生じた煩雑さにより、業務の分担や連絡・調整等を適切に修正できなかったものがあつた。</p>	<p>○年度当初は連絡が口頭のみでメール等での確認もなかったが、途中からメール配信がなされるようになり改善が図られた。</p> <p>●業務改革による戸惑いが評価に表れてきているようだ。それが一時的なもので、来年度に向けて解決されれば評価も上がってくるのではないかと。</p>
改善策	<p>(1)新たな組織体制のもと、会議や打ち合わせについて、先を見越した効率的な運用に努める。</p> <p>(2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。</p>	
広報活動	<p>○生徒募集は広報室が中心になり、学校全体が一体になって行く意識が醸成され、様々な場面で協力した取り組みができるようになった。</p> <p>○マスメディアやインターネット配信に重点を置く学校紹介を進めてきた。</p> <p>●生徒募集の課題や改善策に関して、教職員の共通認識のもと情報発信力を高める必要がある。</p>	<p>○広報活動については総体的に評価は高い。</p> <p>●入学に向けて通信制高校をいくつか見て、池上学院高校が良いと思いつめた。しかし中学校で相談した段階では、池上学院の特色などは理解されておらず、別の学校をすすめられた。中学校に池上学院の良さが十分に伝わっていないのではないかと。</p> <p>●来年度に向け本校の特色や池上学院高校らしさを職員間で再確認し、中学校にも十分伝えていく必要がある。</p>
改善策	<p>(1)広報活動は校内の共通課題として全校体制で取り組む。</p>	
教育活動全般	<p>○生徒一人ひとりに寄り添った指導や学校行事の充実について、生徒・保護者からの評価は高い。</p> <p>●生徒一人ひとりに寄り添った教育活動に対して、職員側はさらなる工夫・改善が必要と認識している傾向がある。</p> <p>●ICT化は校務処理や事務処理では進んできたが、学習指導など教育の面での活用が十分ではない。</p> <p>●総合コースの新たな指導内容については工夫・改善が必要である。</p>	<p>○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高い。</p> <p>○特別活動への参加を望む生徒が増えている。楽しめるようなものをさらにお願したい。</p> <p>○ICTも大切だが人と人の関係も大切である。池上学院高校は両方の良さを持ち合わせた教育ができている。</p> <p>○今年度から変更された指導体制に、特に3年次の生徒は戸惑ったところもあるが、総体的には良くやっていただいたと思っている。</p> <p>●ICT化の評価が低い。他校の実践例も参考に進めて欲しい。</p>
改善策	<p>(1)総合コースの指導体制や指導内容についてはさらに工夫・改善を図り充実させる。</p> <p>(2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。</p>	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・ キャンパス運営	<p>○教育環境の維持・改善についての生徒の評価は高い。</p> <p>○生徒・保護者へのメール配信体制が整い、生徒・保護者とも評価が高い。</p> <p>○チーム担任制の導入により多角的に生徒を観察・見守りができるようになった。</p> <p>●一人ひとりの生徒に応じた十分な指導に課題を感じている職員が増加傾向にある。</p> <p>●チーム担任制で生徒対応にタイムラグがあり、さらに多忙感を抱く職員が増えた面があった。</p>	<p>○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあったと思うが、総体的には肯定的に受け止めている。</p> <p>○行事等について子どもと親の両方にメールが配信され、情報を共有できるようになって安心である。自分の子どもに合った学校であると思っている。</p> <p>●企業においても機構の変更があるという混乱はある。同様に池上学院高校においても改革による様々な戸惑いがあったものと思われる。</p>
改善策	<p>(1)業務改革による新たな課題の解決に積極的に取り組み、一人ひとりの生徒に応じた指導をさらに推進する。</p> <p>(2)チーム担任制やカウンセラー等と連携した指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。</p>	
学習指導	<p>○スクーリングは、ある程度適切に行われているという評価となっている。今後もさらなる質の向上を目指すことが求められる。</p> <p>●総合コースの新たな授業形態への対応が不十分と感じている職員が一定程度いる。原因や背景を探り改善が必要である。</p> <p>●一般コースのレポートやスクーリングについての工夫は行われてきているが、まだ十分な成果が表れていない。個々の生徒に応じた指導の改善が必要である。</p>	<p>○学習指導について課題が指摘されているが、生徒の評価は高い。このような場合には定量的な指標があると良いのではないかと。</p> <p>○行事を見させてもらった中では、生徒のやる気が低下している印象はなかった。</p> <p>●スクーリングの時に静かな雰囲気、なかなか質問がしにくいように感じた。スクーリング中に生徒がもっと質問しやすい工夫が必要である。</p>
改善策	<p>(1)総合コースが抱える学習指導の課題解決に向けて、組織的に取り組める体制づくりをする。</p> <p>(2)レポートやスクーリングの在り方について、さらなる工夫・改善を図る。</p>	
生活指導	<p>○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ適切に行われていると評価は高い。</p> <p>○特別活動(学校行事)は職員、生徒・保護者とも肯定率が高い。</p> <p>●生徒指導の在り方についての共通理解に課題を感じている職員がいることがうかがえる。</p> <p>●いじめ・ネットトラブルその他安全教育については課題が見られる。</p>	<p>○週1,2回の登校だが行事や体育実技において先生方が温かく熱心に指導してくれるので、生徒たちは喜んでいる。またラジオ番組に出演して学校のことを話す経験をしたことによって、自信に繋がっている。</p> <p>●ネットトラブル防止の啓発活動を通して、偽情報を見抜く力を身につけることも必要になってくるのではないかと。</p>
改善策	<p>(1)いじめやネット情報への適切な対応について、教科指導や啓発活動の工夫・改善を図る。</p>	
進路指導	<p>○進路決定の手続きの各段階で、生徒の実態に応じたサポートに対する評価が職員、生徒ともに高い。</p> <p>●生徒によって目標が大きく異なり、さらに指導の機会が限られている中での進路指導に課題を感じている教員が多い。</p> <p>●進路選択について保護者との連携についての肯定率が低い。ここはさらにコース、キャンパスに分けて課題の分析をし改善を図る必要がある。</p>	<p>○手厚いサポートに対し評価が高い。これは保護者の声として常に上がっている「池上の先生は温かい」ということの表れであると思う。</p> <p>○生徒は大切に育てられていると感じている。楽しい経験を通して生徒たちが自信を持つようになっているのではないかと。</p> <p>●保護者との連携が低い評価になっており、改善を図っていただきたい。</p>
改善策	<p>(1)保護者と十分な連携を図り、生徒の状況に応じた適切な進路相談や情報の提供を行い、必要に応じた支援を行う。</p>	